

【所蔵作品展】 Museum collection exhibition

## こどもとおとなのアツアツこうげいかん

Crafts Gallery for Kids × Adults: Heat and Pressure

2018年6月19日(火) ~ 8月26日(日)

東京国立近代美術館工芸館(千代田区・北の丸公園)

高校生以下 & 65歳以上  
観覧無料この夏はこどもたちと一緒に工芸の魅力を探ってみませんか？

広報用図版 No.1 こどもとおとなのアツアツこうげいかん展ポスター

日常からスペシャルな場まで、気づけば私たちの日々はいつも工芸とともにあります。

たとえばお気に入りの湯呑茶わん。立ちのぼる湯気を吹きながらお茶をすすれば心地が付き、しっくりとなじむ肌合いもくつろぎの時間を演出します。しかし、とりたてて疑問も抱かずに親しんできたそれには、なかに注いだお茶の数十倍もの温度をくぐりぬけた過程があります。

そして窯(かま)のなかで焼くあいだもその前の成形のときも、圧力に抗し、同時にその力をボディのうちに取り込んでいます。そんなことを感じながら手に取ると、今までよく知っていたはずのものごとがちょっと違って見えるかもしれません。

澄ました顔してそこにある工芸のなんとドラマチックなこと！本展では「熱」と「圧」を切り口として、アツアツなのにクールな工芸観に迫ります。

## 本展のポイント

- 技法に注目！この作品どうやって作られているの？<sup>アツ</sup>熱さと<sup>アツ</sup>圧力に迫ります。
- 人間国宝から若手作家までの当館所蔵作品、100点以上を展示。陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、金工作品をご覧ください。
- こどもとおとなと一緒に楽しめる展覧会。イベントは全部で10プログラム。夏休みの自由研究、宿題対策にもご活用いただけます。

報道関係の方の  
お問合せ先

東京国立近代美術館工芸館

展覧会担当/今井、西岡 広報担当/島田

Tel : 03-3211-7781 (工芸課直通) E-mail : koge-pr@momat.go.jp

掲載用お問合せ先

Tel : 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

公式HP

<http://www.momat.go.jp>

## 陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、金工も、<sup>アツ</sup><sup>アツ</sup>熱さと圧カがポイント！

### ガラス&陶



広報用図版 No.2  
田嶋悦子《Cornucopia 02-X1》2002年

#### ガラス(緑の部分)

**熱** : ガラスと陶を組み合わせたガラス部分は、小さなガラスの粒を型に入れて高温で溶かします。

#### 陶

**圧** : やきもの用の土をローラーなどで延ばしたり、塊を板状にスライスした「タタラ」を曲げたりくっつけながら作ります。

#### 陶(白い部分)

**熱** : 陶のボディもやっぱり高温で焼きます。

### ガラス



広報用図版 No.3  
高橋禎彦《つぶつぶの瓶》2010年

**熱** : 原料を高温で熱し、ドロドロの水あめのような状態から徐々に固まっていくあいだに加工してかたちを作ります。

**圧** : 金属パイプに巻きつけたガラスだねに空気を吹き込んで成形します。

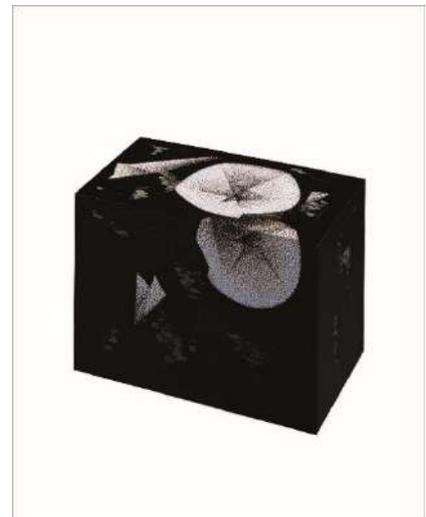
**熱** : 加工後は500~600度に設定した徐冷炉に入れ、少しずつ常温に戻します。急激な温度低下による割れや歪みを防ぐためです。



広報用図版 No.4  
エミール・ガレ《藤文花瓶》1900-04年頃



広報用図版 No.5  
増田三男《金彩壺 爆ぜる》1997年



広報用図版 No.6  
寺井直次《夕顔書類箱》1957年

## 飛び入り歓迎！申込不要のアツアツプログラム

### ジロジロめがね製作工房

対象：小学生以下(家族でタッチ&トークに参加予定の方)  
会期中の水・土曜日  
13:30～13:55



タッチ&トークご参加前に「ジロジロめがね」を作ってアツアツ度アップ！

### 家族でタッチ&トーク

対象：お子さん(小学生以下)とご一緒のグループ  
会期中の水・土曜日  
14:00～15:00



ガイドスタッフと一緒に作品にさわったり、おしゃべりしながら作品を観察したり、小さなお子さんでも気軽にご参加いただけます。製作工房で作った<ジロジロめがね>が大活躍します。

\*製作工房に参加できなかったお子さんの分は、工芸館で<ジロジロめがね>を用意しています。

### おとなのタッチ&トーク

対象：どなたでも！  
会期中の水・土曜日 14:00～15:00

<家族でタッチ&トーク>と並行して、通常のタッチ&トークも行います。専門用語や道具など、工芸ならではの鑑賞のポイントを大人向けにたっぷりご紹介します。

### アツアツギャラリートーク

対象：どなたでも！  
6月24日(日) 14:00～15:00 当館研究員  
7月8日(日) 14:00～15:00 留守玲(金属造形家)

企画担当キュレーターとアーティスト。それぞれの視点でアツアツ工芸観をご紹介します。

### アツアツバッチン！製作工房

対象：どなたでも！  
8月19日(日) 10:30～12:00、14:00～15:30 [各回先着30名]

熱いデザインをムギュッと圧して、世界にひとつのオリジナル缶バッジを作りましょう。

### アツアツスタンプラリー

対象：中学生以下 [先着1500名]  
会期中随時

熱いハートでスタンプを圧！5つ集めた方には小さなアツアツプレゼントいたします。

### アツアツめぐるセルフガイド

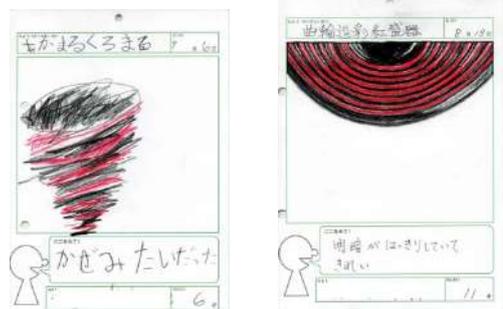
小学生以下 [先着1000名]、中学生以上 [先着8000名]  
会期中随時

こどもとおとな、それぞれの視点でセルフガイドを片手にアツアツめぐり。

### みんなでつくるアツアツ図鑑

対象：中学生以下 [先着2000名]  
会期中随時

あなたが見つけたアツアツを絵とメッセージで紹介し、みんなで図鑑を作りましょう。会期中工芸館で大公開。



## より深く学ぶ申込制(抽選)のプログラム

### A こどもタッチ&トーク

7月22日(日)、23日(月)、24日(火)  
13:30～15:00

タッチ&トークの後にアツアツグッズを作ります。

### B キュレーターに挑戦

8月3日(金) 10:00～15:00

工芸館のお仕事体験。作品の取扱いと研究、さらにみんなをアツアツにさせるポスター作りに挑戦！

申込制プログラム応募〆切 7月2日(月)

※イベント詳細や申込方法はHPをご覧ください

## 開催概要

展覧会名(日)	所蔵作品展 こどもとおとなのアツアツこうげいかん
展覧会名(英)	Museum collection exhibition Crafts Gallery for Kids × Adults : Heat and Pressure
会期	2018年6月19日(火)～8月26日(日)
会場	東京国立近代美術館工芸館 (千代田区北の丸公園・竹橋) 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館工芸館
開館時間	午前10時～午後5時(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(7月16日は閉館)、7月17日(火)
アクセス	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線・半蔵門線 / 都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分
観覧料	一般250円(200円) 大学生130円(60円)  高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員(同伴者1名まで)、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。  * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。  <b>無料観覧日 7月1日(日)、8月5日(日)</b>



広報用図版 No.7  
森口華弘《古代縮緬地友禪訪問着 四季の香》  
1959年



広報用図版 No.8  
生野祥雲齋《竹華器 怒濤》1956年



広報用図版 No.9  
十三代今泉今右衛門《色鍋島薄墨石竹文鉢》  
1982年

広報用図版 請求票

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当 行

発信日 年 月 日

No.	作品
1	「こどもとおとなのアツアツこうげいかん」展ポスター
2	田嶋悦子《Cornucopia 02-XI》2002年 撮影：齋城 卓
3	高橋禎彦《つぶつぶの瓶》2010年 撮影：齋城 卓
4	エミール・ガレ《藤文花瓶》1900-04年頃 撮影：齋城 卓
5	増田三男《金彩壺 爆ぜる》1997年 撮影：齋城 卓
6	寺井直次《夕顔書類箱》1957年 撮影：齋城 卓
7	森口華弘《古代縮緬地友禅訪問着 四季の香》1959年
8	生野祥雲齋《竹華器 怒濤》1956年 撮影：齋城 卓
9	十三代今泉今右衛門《色鍋島薄墨石竹文鉢》1982年 撮影：齋城 卓

- ・ご希望の図版の左枠内に✓を入れてFAXでお送りください。 \*上記作品はすべて東京国立近代美術館蔵
- ・作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- ・展覧会広報のみにご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名： \_\_\_\_\_ E-mail： \_\_\_\_\_

貴社名： \_\_\_\_\_

出版物・放送番組・ウェブサイト名： \_\_\_\_\_  
 URL (http://www \_\_\_\_\_ )

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等： \_\_\_\_\_

電話番号： ( \_\_\_\_\_ ) Fax: ( \_\_\_\_\_ )

\*展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意いたします。

希望しない/希望する ( \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 枚)

〒

チケット送付先： \_\_\_\_\_

アンケートにご協力下さい。(該当するものに○をつけてください。)

●この展覧会について、何でお知りになりましたか？

a.プレスリリース(郵送) b.ウェブサイト c.TwitterなどのSNS d.ポスター、チラシ e.その他  
 ( \_\_\_\_\_ )

●今後、工芸館からのリリース(郵送、またはメール)を希望されますか？

a.郵送希望 b.メール希望 c.特定のジャンル( \_\_\_\_\_ )に限り希望 d.希望しない

ご協力ありがとうございました。